

◆ 研修委員会

活動状況

[正副会長会・総務財務委員会]

開催年月日	議 事 事 項
6. 4. 5	1. 4月定例理事会の提案議題について
6. 5. 10	1. 第57回定時総会の議事進行の運営等について 2. 5月定例理事会（総会当日開催）の提案議題等について
6. 6. 7	1. 6月定例理事会の提案議題について
6. 7. 5	1. 7月定例理事会の提案議題について
6. 9. 6	1. 9月定例理事会の提案議題について
6. 10. 4	1. 10月定例理事会の提案議題について
6. 11. 1	1. 11月定例理事会の提案議題について
6. 12. 6	1. 12月定例理事会の提案議題について
7. 2. 7	1. 2月定例理事会の提案議題について
7. 3. 7	1. 3月定例理事会の提案議題について

[研修委員会]

開催年月日	議 事 事 項
6. 7. 4	[令和6年度第1回研修委員会] 1. インターンシップによる実習生受入事業について 2. 令和6年度研修委員会主催研修会について 3. 藤沢工科高等学校との連携事業について 4. 令和6年度事業計画及び予算について 5. 日空衛「第29回全国会議」現地スタッフに関する依頼について
7. 2. 13	[令和6年度第2回研修委員会] 1. 令和6年度研修委員会主催事業の実施結果について

〔研修委員会〕

〔研修会〕

令和 6 年

10月29日 令和 6 年度 第 1 回研修会（会場&オンライン）開催

講演（1）

テーマ 現場の可能性を広げる 建設ディレクター

講 師 （一社）建設ディレクター協会 理事 田辺 直子 氏

講演（2）

テーマ 高校生の価値観、就職先選択の要因分析

講 師 神奈川県立藤沢工科高等学校 教諭 黒須 智紀 氏

場 所 万国橋会議センター

受講者 54名（会場19名、オンライン35名）

令和 7 年

2月10日 令和 6 年度 第 2 回研修会（会場&オンライン）開催

テーマ 建設業のコンプライアンス

講 師 （公財）建設業適正取引推進機構 専務理事 三吉 卓也 氏

場 所 万国橋会議センター

受講者 39名（会場10名、オンライン29名）

〔施設見学会〕

令和 6 年

5月20日 体験型施設見学会実施

場 所 三機工業株式会社 三機テクノセンター

受講者 県立藤沢工科高等学校 総合技術科住環境系 2 年生33名

〔出前体験授業〕

令和 6 年

7月11日 出前体験授業実施

テーマ 1. 業界説明・施工管理技士の仕事について

2. 空調の原理、冷媒フロン回収・鋼管フレア（体験）

講 師 株式会社ヨコレイ 笠野 泰介 氏

場 所 県立藤沢工科高等学校

受講者 総合技術科住環境系 3 年生 32名

〔インターンシップ〕

令和 6 年

7 月23日～ インターンシップによる現場実習生受入れ

8 月27日	受入会員	8 社
	期 間	各 3 日間
	内 容	座学、体験研修、現場・施設見学
	受 講 者	県立藤沢工科高等学校 総合技術科住環境系 2 年生28名

〔会長賞表彰式〕

令和 7 年

2 月 7 日 令和 6 年度 会長賞表彰式開催

受賞者	県立藤沢工科高等学校 総合技術科住環境系 3 年生 10名
場 所	ワークピア横浜
出席者	有井会長、阿部・三澤・川本副会長、雨宮・築地・一條理事、 鈴野専務理事

令和6年度第1回研修会を開催 ～若者を知る、バックオフィスを活かす～

主催：研修委員会



田辺 直子氏

(一社) 建設ディレクター協会
理事

黒須 智紀氏

神奈川県立藤沢工科高等学校
教諭

1 研修の概要

10月29日(火)午後2時から研修会を万国橋会議センター&オンライン (Zoom) で開催し、54名の方に参加をいただきました。

冒頭のあいさつで、東軒研修委員長は「建設業界の人材確保は大変厳しい。こうした状況を変えるには若者の考えを知り、現場の働き方を変える必要がある。今日の成果を日々の業務の改善に生かしてほしい」と呼び掛けました。

講演1 テーマ 現場の可能性を広げる～建設ディレクター
講師 田辺 直子氏 ((一社) 建設ディレクター協会 理事)

講演2 テーマ 高校生の価値観、就職先選択の要因分析
講師 黒須 智紀氏 (神奈川県立藤沢工科高等学校 教諭)

2 講演の要旨

講演1：田辺 直子氏	講演2：黒須 智紀氏
<ul style="list-style-type: none">・ 働き方改革等が必要な理由 長時間労働の是正、女性の職域拡大・ 建設ディレクターに期待できる効果 技術者が現場業務に集中できる チームで働く体制づくり・ 事例紹介・ 持続可能な建設業を目指した視点 地方の雇用創出、企業の成長・専門職の人材育成、 業種連携の強化、デジタル化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 工業高校の時代変遷 就職率、就職内定率、求人倍率・ 工業高校を選んだ理由・ 高校卒業後の進路 進路決定の時期、理由・ 高校生の考え方 就職動機、将来像、会社選択条件・ 進路指導の考え方 生徒の力、興味・関心、将来構想

3 質問&回答

- (質) 建設ディレクターを採用したいが、採用した従業員に具体的に何からさせたらよいかわからない。ヒントが欲しい。
- (答) まず、技術者のトップが新しい価値観を受け入れることが必要。その上で技術者と建設ディレクターが密にコミュニケーションが取れるよう、建設ディレクターを工事事務所に配属し、最初は写真管理などの仕事を細分化して与えることで可能性が見えてくると思う。
- (質) バックオフィス人材を育てるために、まず、従業員に建設ディレクターの講習を受けさせてみるのはどうか。
- (答) 建設ディレクターを希望する方はよいが、他の仕事をしている方に受講させても、受講者のモチベーションを考えても、十分な効果が得られないことを懸念する。

令和6年度第2回研修会 開催

～建設業のコンプライアンス～

主催：研修委員会



2月10日(月)午後2時から、建設業のコンプライアンスを学ぶ研修会を横浜市中区にある万国橋会議センター4階403会議室及びオンライン（Zoom）で開催し、39名の方に参加いただきました。

建設業でコンプライアンスといえば、談合、贈収賄、独占禁止法違反などがイメージし易いですが、フジテレビ問題にあるような人権意識の欠如への対応など幅広い範囲が対象になります。

このため、当会では会員のコンプライアンスへの意識の維持向上を目的に毎年研修テーマとして取り上げています。

研修会は、東軒研修委員長のあいさつに引き続き、公益財団法人建設業適正取引推進機構 専務理事の三吉卓也氏より建設業のコンプライアンスの中でも、特に、入札に関連する違反事例を中心に講演をいただきました。

テキストは、建設業のためのコンプライアンス～企業の持続的発展のために～改定6版を使用しました。

具体的には、独占禁止法、刑法（入札妨害罪、談合罪）、官製談合防止法の概要、違反事例やその背景にある事情、違反した場合の制裁などを過去に地方自治体に関わった事例を基に解説をいただきました。

建設業のコンプライアンスについては、継続的に会員の皆様に働き掛けをすることが大切と考え、今後も継続的に開催してまいります。



三吉 卓也 氏

公益財団法人建設業適正取引推進機構
専務理事

令和6年度 会長賞表彰式

高校生に「会長賞」を授与



2月7日(金)、横浜市中区のワークピア横浜3階「いちよう」において、令和6年度 高校生を対象とした「会長賞」の表彰式を開催し、神奈川県立藤沢工科高等学校3年生10名に賞状及び副賞を授与しました。

この会長賞は、空調衛生工事に不可欠な機械設備の設置・維持管理に関し高い知識と関心を持つ高校生を称えようと令和5年度に新たに創設した賞で、この度受賞した10名は高校在学中に、2級管工事施工管理技士一次検定に合格した方々です。

有井会長は、祝辞で「これまで当会が取り組んできたインターンシップによる受入れやこの会長賞の表彰が国家資格合格への後押しになっていれば嬉しい、これから経験と研鑽を積み、業界を担う人材となることを期待する」とエールを送りました。また、表彰式後には、受賞者を囲んで、工業会役員との懇談会を開き、検定の受験動機や将来の仕事に対する抱負などを話題に歓談をしました。

【令和6年度受賞者】

神奈川県立藤沢工科高等学校 総合技術科 住環境系 3年生
富田 勝之 原 龍之介 小川 魁兜 松井 駿介 樋口 大夜
竹腰 柊呂 西村 零 保田 陸 内海 陽太 南 琉斗

〔敬称略〕

学校通信

— 総合技術科 住環境系 —

◆ 藤沢工科高等学校 ◆

住所 〒252-0803 藤沢市今田744

TEL 0466(43)3402

FAX 0466(43)4942

学校長 小林 隆宏

令和6年度 藤沢工科高等学校 住環境系2年生 現場見学会

実施日： 令和6年5月20日(月)10時から15時

見学場所： 三機テクノセンター

見学者： 住環境系2年生 33名 (男子 31名、女子 2名)

内容： 三機テクノセンターでの安全体験、技術エリアでの施工管理に関する説明、
三機工業(株)の事業概要説明

本校は従来の工業高校とは違い、全員が「総合技術科」として入学し、1年時はものづくり全般について学んでいきます。そして、2年次からは興味・関心や進路・適性に合わせて6つの系(専門)から1つの系を選択します。6つの系には、生産技術系・情報通信系・建築系・都市土木系・総合デザイン系、そして住環境系が設置されており、多くの専門から選択をすることができます。

本校は住環境系において設備分野を学ぶことのできる県内唯一の学校です。設備分野の理解を深めるために、2年次の夏季長期休業期間にインターンシップの必修、年1~2回の現場見学会、外部講師による出前授業といったカリキュラムで少しでも即戦力となる技術者の育成に取り組んでいます。

今回は三機テクノセンター様のご協力のもと、現場見学会を実施いたしましたので概要をご報告いたします。

本校生徒を受け入れていただきました三機テクノセンター様、また、生徒の移動手段としてマイクロバスを手配していただきました神奈川県空調衛生工業会様には、この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。ありがとうございました。

以下は、生徒たちの感想となります。

安全のために、どのようなことに気を付ければいいのかを学べる場所や実際にどこが間違っているのかを考えて確認したり、見比べることで配管の流れやすい角度、流れにくい理由がわかったりと、とにかく歩いて回ってみて考えて体験してと記憶に残るような工夫がされていて凄かったです。また、壁や床に動画が映し出されて、製品とともに解説をしてもらえるのも理解がしやすくてよかったです。水の話などを聞いたとき、学校の授業で学んだことといくつか繋がって楽しく感じました。個人的に興味を惹かれたのは外にある井戸で、災害などがあった際に使用するのだそうですが、水を出せば出すほどいい水になると言っていてそんなことがあるのかと驚きました。他にもミストを設置しており、このような希望や問題点からこのようなものを作ったといった話から学べるものがたくさんあって、良い経験になりました。(住環境系2年女子)

三機テクノセンターを見学してみて、研修施設なのに敷地が広く、研修生が生活する部屋も、そこら辺のビジネスホテルより大きくトイレ風呂が別でした。衛生、空調、足場、水道、電気と数多くの分野があり自分の行きたい道がない人でも入れば見つけられると思いました。そこで働いている人達も皆さん人柄がよく優しく教えてくれました。行って良かったと思います。(住環境系2年男子)

三機テクノセンターのことを事前に下調べしたときに技能や研修などのワードがたくさんあり「多分工業の研究所かな」と思っていた。初めて研究施設に来たがすぐに技術力のすばらしさに気づいた。社員の方の丁寧な説明とそれぞれのブースで実体感してみても、「ここではこういう状況になることがあり、そのときにはこうすればいい。」という対応の仕方を知ることができたのがとてもよかったです。(住環境系2年男子)



令和6年度 出前授業について

実施日： 令和6年7月11日（木）

受講者： 総合技術科 住環境系 3年生

テーマ： 空調機器内での冷媒の役割と冷媒が自然界に及ぼす影響について、および、施工管理業務について学ぶ。

講師： 株式会社ヨコレイ

内容： [株ヨコレイ] (90分)

- ・ 業界説明と空調機器の原理について
- ・ 施工管理という仕事とは
- ・ 空調用冷媒の回収作業体験

本校住環境系では、外部講師をお招きして「出前授業」を積極的に取り組んでいます。

その一環として、3年生は卒業後の進路も控えていることから、より専門的な内容をご講義いただきたいので、神奈川県空調衛生工業会様へご依頼し、3年生向けの体験も交えた講座を実施していただきました。

今回の出前授業では、施工管理業務に従事されていらっしゃる方から「施工管理という仕事」について、実際の現場の画像などを用いてご説明いただきました。また、冷媒の回収作業や、銅管のフレア加工など通常の授業では取り組むことができない体験をすることができました。卒業後の進路先を決めるタイミングでの講義であったため、生徒たちにとっては大変貴重な進路指導の一助となりました。

最後に、本来業務がご多忙のところ、本校生徒のためにお時間を作っていただきまして、誠にありがとうございます。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

今後も、このような出前体験授業を取り入れまして、社会で活躍できる人材の育成に努めてまいりますので、引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

業界説明と空調機器の原理について



フロン回収体験



フレア加工体験



令和6年度インターンシップ参加報告書

受入期間： 令和6年7月23日～8月27日の期間内の3日間

受入会員： 8社（川本工業株・エルゴテック株・三沢電機株・株光電社・新冷熱工業株・株丹野設備工業所・株西原衛生工業所・株朝日工業社）

受入実習生： 総合技術科 住環境系2年生 28名

今年度も神奈川県空調衛生工業会のご協力のもと、本校2年生28名（内女子2名）がインターンシップを実施させていただきました。生徒たちは現場での作業風景や社会人としての素養を学ぶことができ、貴重な経験をすることができました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

以下は、生徒たちの感想となります。

実際に会社や現場で働いてる人たちを見て、どのような仕事なのか詳しく知りたく参加しました。インターンシップでは工程表の種類や特徴の違いや使い分けの話を知り、現場の計画がどのように出来上がっていくのかを知ることができました。また、特に印象に残ったのは会社の雰囲気で全体的に仲が良く、気軽に話せる関係なんだと感じました。このインターンシップを通じて、挨拶や疑問を質問にすることの大切さについて感じる事ができました。今後も資格勉強や学校の勉強などで疑問が出てきたら、必ず、質問をし、疑問を残さないようにしたいと思います。
(住環境系2年女子)

僕は就職や進学を考えるためにインターンシップに参加しようと思いました。建設業は工事をずっと行うものだと考えていましたが、実際にインターンシップに参加したところ、営業をしている方や設計をしている方など、色々な仕事があるのだと感じました。特にCAD体験では、設計の仕事を身近に感じる事ができ、自分の知らない建設業の姿に触れることができました。この体験で空調の業界への興味が湧き、設備業のことをもっと知りたいと感じました。

(住環境系2年男子)

元々建設業に興味関心があり、建設会社のイメージを明確にしたかったため、インターンシップに参加しました。現場見学では、多くの会社が一つの現場の中において、多くの人や会社が協力しあって工事は行われるのだと驚きました。また、2日目に行った作業所ではルームエアコンの取り付けを行わせていただき、建設業のものづくりの楽しさを感じることができました。この経験を基に様々な方面から自分のやりたいことを見つけたいと思います。
(住環境系2年男子)



新菱冷熱工業株



エルゴテック株